

国名： **カナダ** ① 走行エリア：**バンクーバー 市内道路**（中心部～ノースバンクーバーへ）

走行エリアの基本情報：自転車専用道（レーン）又はコース（・無）スタンレーパークのサイクリングコース

参考 HP：<http://www.hellobc.jp/vancouver/things-to-do.aspx>（ブリティッシュコロンビア州観光局 HP）

レポート期日：2013年7月現在 ※上記 HP には、バンクーバー市内のサイクリング地図（英語）有り

（※実際に現地で走行を体験した感想を基に記述しています。下記全ての内容は、変化している可能性もあります。ご了承ください。）

実際に走行した道路／コース状況：路面状況（**アスファルト舗装・ダート**） 使用車輛 **GIANT MTB RINCON26**  
 ルート名：**スタンレーパーク内自転車道（15 km）** 周回 ⇔ **キャピラノ吊り橋** 実走行距離：**70** km  
 現地の人々の自転車とのつきあい方： ※レポート報告者：**OSCN 片山 昇**

平日・休日問わず、バンクーバー市中心部から約6 km北東にある岬・スタンレーパークの自転車道には、朝～夕方までサイクリングを楽しむ姿が見られる。7月頃は最も天候が安定しており、日暮れも9時過ぎと遅いことから、仕事後に仲間とサイクリングを楽しむ姿も多い。通勤等で使用している姿も見られるが、どちらかという、レジャーとしてサイクリングを楽しんでいる方のほうが多いと感じた。

現在のサイクリング環境（道路整備・コース整備・社会的認知度等）：

バンクーバー周辺部は、車道の端に自転車の走行ルートを示すマークや矢印が描かれている。一部、公園や橋の上等、自転車と車道とを分けた専用道も存在しており、自転車が交通手段の正式な一員として社会で認知されている。「Share The Road!」シェアザロードという看板がロードサインとして存在し、歩行者・車・自転車・ローラースケート・・・道路を利用する全ての人々が、意識し合い道路を安全に有効に活用しよう！という姿勢が示されている。一方で現地の NEWS 等で、自転車の性能向上による高速化で事故を問題視する報道・自転車道の一層の整備への議会検討等の報道がなされている状況も目の当たりにした。

状況写真：（※下記以外の状況写真・動画をご覧になりたい方は、左記ページへ⇒ 只今準備中 ※フラッシュプレーヤー再生）





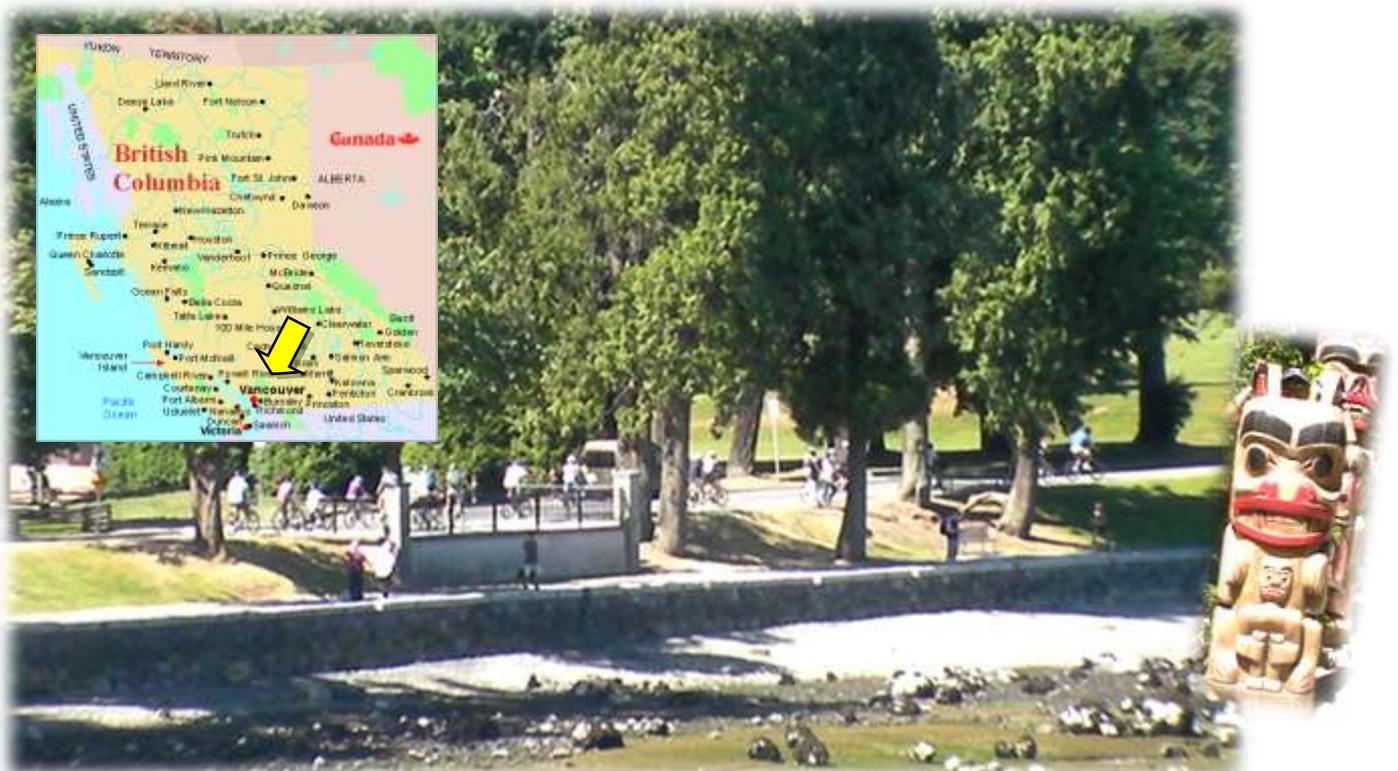
←↑タンデム車から、スケーター、ランナー、歩行者と共に、道路を分かち合うバンクーバーの道路。意識を徹底させるサインや環境整備も、快適な交通社会への1つの手立て。



バンクーバー市内の道路。午後7時位だが、7月はまだまだ明るい。快適なアフター5のサイクリングが可能。



スタンレーパーク内には、自転車も走行可能な未舗装路もあり、固く締まった平らな路面で、さわやかにMTB走行が楽しめる。



観光客も、地元民も、たくさんの方々が、一日中ひっきりなしにサイクリングを楽しむ姿が見られる。7月の1年で最も安定した季節の中、たくさんのサイクリストが行きかうスタンレーパークの外周路である。周辺の市街部にはレンタサイクル屋も多い。